

珠算学習者作文 そろばんをならって

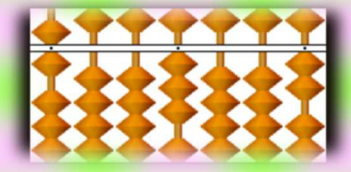


宇和島南中等教育学校3年 山本志穂

そろばんを習い始めて、11年ぐらい経ちました。始めたころは幼稚園で、なんと最初は数字を書く練習から始めた記憶があります。これを機に、習い始めたころをふり返ってみました。

習ったきっかけは、母に言われたわけでも計算に興味があったわけでもなく、ただ友達がやっていたからという理由で始めました。それが今では11年、三日ぼうずの私がよくこれだけ続いたと思います。実は幼稚園の時と、段を取った時に辞めようと思っただけでしたが、続けて良かったと思っています。そろばんを習ってよかったなと思うときは、会計の時とみんなにちやほやされる時で良い気分になれます。

少し前から重要な大会に出させていだいたり大切な役を任せていだいたり責任重大ですが、学業で忙しくなかなか練習に行くことができません。でも、継続は力なりともいうので、これからも地道に練習を続けていければいいなと思います。そしてゆくゆくはもっと成長して、カッコよくそろばんをはじけるようになりたいです。



鶴島小学校6年 開徳 泰一

僕がそろばんに通い始めて、6年が過ぎました。そろばんを通して、「継続は力なり」ということを学びました。初めは速く計算ができなかったり、わからない問題があったり、いやになることがありました。でも、先生にわかるまで教えてもらったり、家でトライアスロンの問題を何回も解いたりして、段を取ることができました。段を取った時はとてもうれしかったです。

また、夏休みには、いつもの練習日に加えて特訓がありました。[夏休みの宿題もあるのに、しんどそうだな、できるかな?』と思いましたが、母に、「初めはしんどいと思うけど、続けることで、特訓の時間が当たり前になって、いい生活リズムになると思うよ。」と言われ、頑張りました。教室では僕一人ではないので、みんなと一緒に頑張ることができました。今では、休みの日の午前中に、読書や自主勉強をするようになりました。

そろばんに通うことで身についたことが2つあります。1つは集中力です。「よい。」という先生のかげ声で問題を解き始めます。問題を解く前から姿勢を正して、目の前の問題に集中し、1つでも多く解こうとするのが、普段の勉強の時でも生かされていると思います。もう1つは試験に対する姿勢です。せっかく練習を頑張っているのだから、試験に受かりたい。そのため、試験前は早寝早起きをするようになりました。前の晩は頭や体を休めて、鉛筆を研ぐなど、文房具類の準備をするようになりました。

振り返ると、6年前の自分、去年の自分、半年前の自分と比べて、できるようになったことや成長した部分があります。そろばんを通じて、たくさんのことを学んでいるなとわかり、続けて良かったと思いました。